

(委託仕様書の別紙)

IoTリーダー塾のカリキュラム（令和5年4月5日現在）

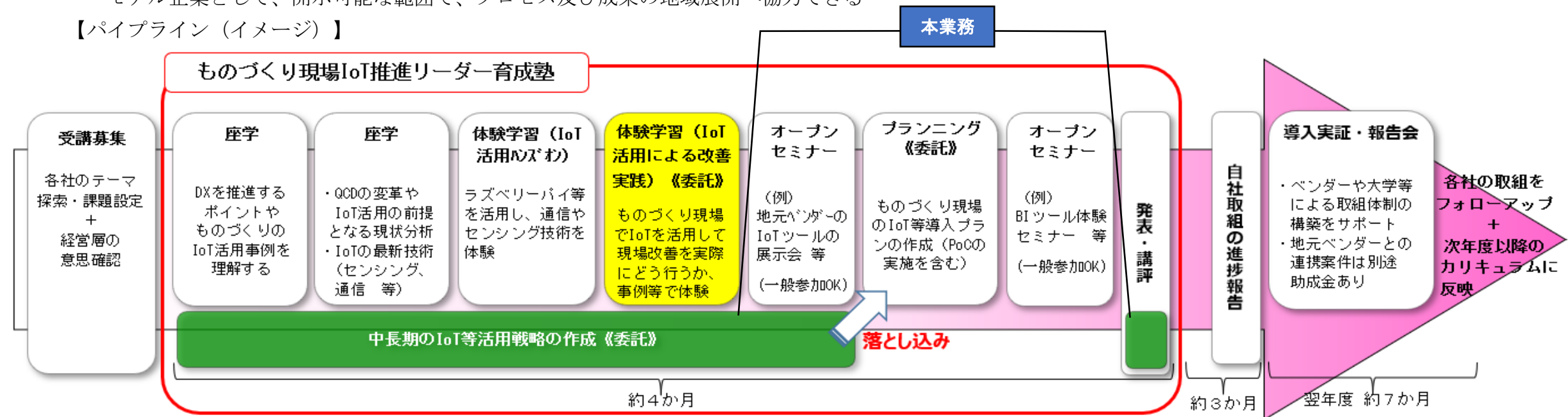
1 IoTリーダー塾のパイプライン

次のすべての条件を満たすものづくり中小企業の、現場と経営層への情報伝達ができ、将来的なDX推進のコアとなる人材の育成「IoTリーダーの育成」（次図の赤枠内上段）と、「経営層がコミットする中長期のIoT等活用戦略の作成」（次図の赤枠内下段の緑色部分）を並行して行う。

【条件】

- ・経営層自らが取組に積極的に関与・判断できる
- ・工場の生産ライン管理、設備の故障予測、作業効率化など、企業規模にあった課題設定ができ、IoT等のデジタル技術の導入に適切な推進体制の構築ができる
- ・モデル企業として、開示可能な範囲で、プロセス及び成果の地域展開へ協力できる

【パイプライン（イメージ）】



2 IoTリーダー塾のカリキュラム

- 受講定員：概ね10人・社
- 講座期間：8月下旬～12月中旬（約4か月間）
- 講座概要：

対象者	時期	8月下旬		9月		10月				11月	12月中旬	
		座学（※1）	座学		体験学習		オープンセミナー	IoT等導入プランの作成			オープンセミナー	成果発表会
IoTリーダー		IoT基礎 4時間程度	IoT技術	現場改善手法	IoT活用 ハンズオン	IoT活用による 改善実践	地元ベンダーのIoT ツール展示会等	自社課題 分析	課題解決 実行計画	メンタリング 期間	BIツール体験 セミナー等	
			4時間程度	12時間程度	4時間程度	6時間程度	3時間程度	4時間程度	4時間程度	2時間程度× 概ね10社	4時間程度	4時間程度
本業務 経営層		IoTの概論や今後のビジネス活用についての基礎知識を学ぶ。	講義及びワークショップ等により、経営層がコミット する中長期のIoT等活用戦略の作成を支援 （講座回数・時間等は、受注者の企画提案を ベースに、本財団と協議して決める。）					経営層が作成した戦略をIoTリーダーと共有する。 （IoTリーダーは、戦略を認識してIoT等導入 プランの作成に取り組む。）				各IoT等導入 プランへの講 評

※1 IoTリーダー塾の開講初日の講座は、IoTリーダーと経営層が一緒に受講する。